

平成22年8月より約1ヶ月間、徳島大学病院において気管挿管実習で大変お世話になりました。救急現場と違い初めて経験する手術室の雰囲気や機材に戸惑いながらも多くの先生方に指導や助言、ときには励ましもいただきながら無事に実習を終えることができました。



この実習で学んだことは知識や技術的なことはもちろんですが、患者様と医療従事者との間にはまず信頼関係が一番であるということ。手術に対し不安な患者様の心境を考え、先生方が何気に患者様にかかる言葉は信頼関係を築きあげると感じました。今後の救急活動の中で生かしていきたいと思います。  
先生方、これからも元気にご活躍されることを心より願っています。

板野東部消防組合  
紙永 崇志